

# 市議団ニュース

1775

2015.11.22

日本共産党根室市議団

宝林町4-203

電話23-6023

FAX24-1684

## 市議団が道庁へ要請行動

日本共産党・根室市議会議員団は、十六日、十七日の両日、道の本庁を訪問。サケマス流し網禁止関連対策、高潮対策、JRのダイヤ改正等の切実な地域の経済問題や市民生活に直結する諸要求を携えて北海道、JR北海道への要請を行いました。



サケマス流し網対策で道・中田水産局長へ要請する根室市議団

### 道の指導性発揮を

道水産林部への要請事項は、市の対策本部が21項目を要請しているものの中から重点的な9項目に絞って要請しました。その要請項目は以下の通りです。  
(1) 国の具体的な対策が見えていない状況から早期の実現を国に要請すること。  
(2) サケマス流し網漁業禁止をはじめとする地域経済の深刻さへの道の具体的な対策を早急にまとめること。  
(3) 来年の漁期が迫っていることから、サケマス漁

が出漁出来る等の)積極的な対口交渉を国が責任もって推進すること。  
(4) サケマス流し網漁業の代替え漁業や漁法変更等について、既存漁業との調整等について(許認可をもっている)北海道としての主動的な役割を發揮すること。

(5) 多くの関連産業にかかわることや既存漁業、漁業者間の調整等が必要であることから、栽培漁業等を推進する上で事前の調査・研究などが重要となり、そのため中長期的な対策を国に要求すること。  
(6) 流し網禁止による原魚不足を補うためにも、道の主体的な事業となつていくサケマスふ化放流事業の抜本的な改善を図ること。とりわけ、太平洋沿岸の水揚げが激減していることから、道立研究機構「さけます・内水面試験場道東支場」の機能の充実と人員配置等の体制整備を行うこと。  
(7) 道海面漁業調整規則ライン(いわゆる中間ライン)の見直しによって、海面・漁場の新たな確保を行うこと。

(8) 根室市が置かれている漁業経済環境の激変に配慮し、道の漁場整備等への財政措置を上乘せし、地元負担の軽減を行うこと。  
(9) 国の対策が農林水産分野以外、運輸業への対策等現在に至っても何らの具体的な対策が見えてこない状況にある。市内の関連産業は来年以降の経営に大きな不安を感じていることから、道として改めて関係省庁へ具体的な対策が進むよう強く要請すること。

この要請には、市議団から神、鈴木、橋本市議が参加。対応した道水産林務部の中田克哉水産局長は、代替え漁場整備は、国の動向を踏まえ道として対応する。出漁できなかった漁船への対策は、スクラップ代等国の交付金の支給を望んでいる。ふ化放流事業は、国とも連携し取り組んでいる。道東のふ化放流事業は、三年後から本格的な取り組みが行われる。いわゆる中間ラインの見直し問題は、ラインそのものが不明確で、現段階では、危険性を払しょくできない。等の回答がさ

れませんでした。  
神市議は「ホタテの代替漁場整備等へは、道の補助率の上乗せや代替え漁業等の対策などに道が主体性、指導性の役割を果たすべきである。地元は対策の具体的なものが見えず苦慮している。」と強く訴えしました。

### 浜松地区の高潮対策も

23号台風によって、根室湾側だけでなく、太平洋側(浜松地区等)に高潮による避難勧告が出され、人命にもかかわる危険な状況が出た対策について、道の本庁サイドは、現地の状況の把握が不十分であったことから現地調査を早急に行い対策を急ぐよう要請しました。

### 官僚的なJR北海道の対応に驚き

鈴木議員は「ダイヤ改正」で大幅減便となる花咲線の対策を要請しました。JR側は「乗車率が減っているのに減便する。乗車率向上対策としての取り組みは減便しなかったことがその対策だ。」と開き直る驚くべき回答がなされました。